

A0204-03	<b>工事許可の手順と基準を明確にして遵守せよ</b>		
本文	危険性のある工事はしっかりとした基準に基づく工事許可のもとで行うこと。		
リスクの種類	火災、人身災害	関連目次・章節	
理由(何故)	特に危険性のある工事として、火気使用工事、搭槽内作業、移動式クレーン作業、掘削作業、電気機器使用作業、放射性同位元素持込み使用作業などが挙げられる。これらは、思わぬ火災や人身災害発生を起こす可能性がある。そのために、工事(作業)許可を受け、適切な措置を講じて作業に着手することが必要である。		
方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工事管理規程などに、工事許可の必要な作業、許可手続き等を明記し、工事許可手順を明確にする。</li> <li>2. 許可手続きの申請・許可の様式を作成しておく。</li> <li>3. 工事・作業に関する安全教育を運転者、工事実施者の両方で実施しておく。</li> <li>4. 許可された手順に従って全ての作業が実施されたことをポイントごとにチェックする。</li> </ol>		
事故例	<p>火気使用工事の火気が着火源となって火災になるケース</p> <p>搭槽内の作業で酸欠になり死亡するケース</p> <p>点検修理中の回転機器の電源スイッチを間違えて入れてしまい作業者が被災するケースなど。</p>		
法的参考事項	<p>労働安全衛生法 第一章 総則 事業者の責務</p> <p>労働安全衛生規則</p>		
備考	<p>参考資料:警句集原本(設計 No 332)</p> <p style="text-align: center;">高圧ガス保安技術(高圧ガス保安協会)</p>		